

## 第 6 回 下野市行政改革推進委員会会議録

日 時 平成 22 年 11 月 22 日 ( 月 ) 午前 9 時 00 分 ~ 12 時 00 分  
場 所 下野市保健福祉センターゆうゆう館会議室  
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、金子伸祿委員、須藤純子委員、田辺伸一委員、渡辺欣宥委員、関口博之委員、前原保彦委員  
欠席委員 高山忠則委員  
出席者 (経済建設部)  
伊沢経済建設部長、栗原経済建設部次長、上野農政課長、上野商工観光課長、伊沢建設課長、神戸都市計画課長、大橋区画整理課長  
(総合政策室)  
川端総合政策室長  
事務局 (総合政策室)  
落合総合政策副室長、小口主幹兼課長補佐、金田主幹、古口副主幹、古口主査  
傍聴者 3 名

### 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事  
(1) 会議録署名人の指名  
(2) 行政評価市民評価ヒアリング ( 経済建設部 8 事業 )
- 4 その他
- 5 閉会

### 会長あいさつ

( 杉原会長 ) 連日ご苦労様です。本日で、すべてのヒアリングが終了する予定です。本日は 8 事業ですので、よろしくをお願いします。

### 議事

#### 会議録署名委員の指名

( 杉原会長 ) 今回は、前原委員と金子委員をお願いします。

#### 行政評価市民評価ヒアリング ( 経済建設部 8 事業 )

伊沢経済建設部長から、経済建設部の組織体制、所掌事務の概要説明後、担当課長から事務事業の概要説明 ( 資料 / 下野市行政評価市民評価シート〔平成 22 年度〕)

### 農業用施設維持管理事業

(上野農政課長) この事業は、農業用施設の維持管理を行うとともに、老朽化し使用に耐えなくなった堰を改修するものです。北河原堰は昭和 45 年に姿川の改修で設置されましたが、約 40 年を経過して堰のラバー外面(カバーゴム)が劣化と流木等により激しく裂断されており、早急に補修が必要となったものです。宮前堰は、地区から流れに入って板を立てかける方式の板堰以外の堰改修の要望が出ており、平成 24 年度から調査、25 年度に工事を行う予定のものです。総事業費は 1 億 200 万円ですが、北河原堰は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業を使って、市の負担は総額の 10%である 1 億円となります。

### 共通商品券(プレミア付)発行事業

(上野商工観光課長) この事業は、地元商店の販売促進と冷えた消費に活力を与え、販売額の増加と地元ならではのサービス向上をはかり満足度の充実につなげることを目的にしています。3 商工会の会員の店舗で共通使用できる商品券を発行し市内商業の振興を図るもので、総事業費は商品券発行総額 9,900 万円のうち、プレミア相当分の 900 万円です。

### 中小企業制度融資促進事業

(上野商工観光課長) この事業は、中小企業者の資金調達の負担軽減と利用促進を図るために、保証料又は利子を補助支援するものです。市制度融資利用者の負担軽減のため、保証料の全額又は利子の一部を補助するもので、事業量は市中小企業制度融資保証料補助で 1,680 万円、市中小企業制度資金利子補助で 47 万円です。総事業費は平成 23 年度で 1,727 万円を予定しています。

### 石橋駅周辺土地区画整理事業

(大橋区画整理課長) この事業の進捗率は約 92%となっていますが、ここ数年事業が進まない状況です。このままの状況が続くことは地権者の不利益にもなりますので、事業の推進を図る必要があります。長年懸案であった地権者 1 名と今年度移転の保証契約が締結できましたので、進捗状況は 95%程度になると考えています。総事業費は 8 億 8,000 万円で、残事業費は 9,676 万 5 千円です。

### 市道維持修繕事業

(伊沢建設課長) この事業は、道路の機能劣化を修繕することにより、道路の維持向上と通行者の安全を確保するものです。事業量と事業費は、平成 23 年度は修繕工事 30 箇所を予定、1 箇所 150 万円と想定しています。

#### 市道南 1 - 1 号線道路整備事業

(伊沢建設課長) この道路は路肩を含め 7 m 程度確保されているにもかかわらず側溝が未整備のため、降雨時に周辺宅地等への影響が避けられません。この事業は、その解消を図るものです。事業費は第 1 期事業費 8,000 万円、第 2 期は 5,000 万円の予定です。

#### 橋梁長寿命化修繕事業

(伊沢建設課長) この事業は、下野市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の健全度 40 以下(早急な修繕を要する橋梁)の危険な状況から修繕工事を施し、健全度 80 以上の当面修繕を要しない状況を確保することを目的としています。来年度の総事業費は、東田橋修繕事業として 1 億 2,800 万円です。

#### 自治医大駅バリアフリー整備事業

(神戸都市計画課長) この事業は、高齢者及び身体障がい者等が公共交通機関を円滑に利用できるよう整備することにより、利便性や安全性を向上させることを目的としています。自治医大駅東口にエレベーター 1 基、西口にエレベーター 1 基、連絡通路 1 式を設置するもので、総事業費は 2 億 3,567 万 5 千円です。

#### 農業用施設維持管理事業に係る質疑

(関口委員) 農山漁村活性化支援交付金では、地元とは、誰のことを指していますか。また、国分寺土地改良区が資金を持っているのですか。

(上野農政課長) 地元とは、土地改良の関係になりますので地権者となります。北河原堰の改修のために、通常の出金とは別に徴収されたのだらうと思います。

(関口委員) 関係団体と協議して負担額が変わる可能性はあるのですか。

(上野農政課長) 国、県の割合は決まっています。また、市も負担割合も決まっていますので、負担額が変わる予定はありません。

(渡辺委員) 二つの堰は距離が近いので同時に改修できないか検討していると言われましたが、今年度中に結論が出ますか。同時に改修する際は、先ほどの説明では 1 億円ほど節減できるということでしたので、可能であればそちらの方向で進めていただきたいと思います。

(上野農政課長) 今年度中には、結論を出したいと考えています。

(飯島委員) 市の関与のあり方ですが、土地改良区から要請があった場合ということでしょうか。

(上野農政課長) 30 年や 50 年に 1 回の機会ですので、要請があったら行うというも

のではなく、市で協議してやったほうが良いとなった場合に実施します。

- (飯島委員) 検討するといったときに、庁内だけで検討されているのですか。下野市内にもたくさんの改良区があると思います。改良区では、できるだけお金を払いたくないでしょうから、結果的に市が負担することになっていませんか。
- (上野農政課長) 負担金は土地改良区からいただきますが、検討は土地改良区や県と協議します。
- (前原委員) 土地改良区がやるべき仕事を市が代わってやるというようになっていると思うのですが、負担金と委託料の区別はあるのでしょうか。
- (上野農政課長) 委託金をもらうことは考えていません。25%の改良区の負担金をいただいて、市が実施することを考えています。
- (須藤委員) 請け負う業者の選定について、入札を受ける対象者の条件はありますか。また、具体的な入札の流れを教えてください。
- (上野農政課長) 入札は管財課で担当しています。農政課では設計を行って、後は管財課に任せています。
- (前原委員) 負担区分の見直しはやらないということでしたが、シートの効率性の欄の記述と食い違わないでしょうか。
- (伊沢経済建設部長) 平成 23 年度の事業については、当初の負担金でやっていきたいと考えています。二つの堰を一緒にやるということになると、地権者が二つの地域になりますので、負担の割り振りを検討しなければならぬと考えています。
- (川端総合政策室長) 効率性の観点からの記述は、総合政策室で担当しました。負担区分の見直しではなく、工事方法の見直しと訂正ください。
- (杉原会長) コンクリート堰とラバー堰の違いを教えてください。
- (栗原経済建設部次長) コンクリート堰とラバー堰の両者の検討をしていますが、一般的に言って、事業費についてはラバー堰のほうが安くなります。維持管理もラバー堰のほうが安いですが、コンクリート堰は耐久性が高くなります。最近ではラバー堰を採用している場合が多いようです。ラバー堰には空気によって膨らませる方法と水を入れて膨らませる方法があります。
- (杉原会長) ラバー堰の工事ができる技術を有する業者さんは、県内にあまりいないのではないかと思います。
- (栗原経済建設部次長) この工事には護岸等の工事も含まれます。一般的には、一般土木という形での入札になります。
- (杉原会長) 入札の観点からすると、コンクリート堰のほうが競争の原理が働くかと思いました。

## 共通商品券（プレミア付）発行事業に係る質疑

- （渡辺委員） 商工会への加入率は、どの程度ですか。
- （上野商工観光課長） 平成 22 年 3 月 31 日現在、3 商工会で 1,313 の会員数です。全体の商工業者は、平成 18 年の事業所企業統計では約 2,100 となっています。
- （渡辺委員） そうすると約 60%強ですね。プレミアムの補助の 900 万円は市が全部負担しています。商工会加入事業者の負担は無いようですが、事業者にもある程度の負担があって良いと思います。
- （上野商工観光課長） 平成 21 年度の事業では、3 商工会から 60 万円の助成が出ています。その他、事業者から負担金として 124 万円が出されています。この負担金は、制作費、広告宣伝費、管理費等に支出しています。
- （金子委員） グリーン券とオレンジ券があると思いますが、違いはなんですか。
- （上野商工観光課長） 商品券を使えるお店が決められています。グリーン券は 7 枚で、加盟した小売店をはじめ限定された大型店でも使えます。オレンジ券は 4 枚で小売店のみで使えます。
- （金子委員） 使えるお店は、どのように決めていますか。
- （上野商工観光課長） 事業への加盟の募集をします。それがのぼりを立てているお店で、加盟は 236 店舗です。負担金は一律 1,000 円です。
- （飯島委員） 売上が向上したという声は加盟店からあったのでしょうか。商品券があったから、余計なものを買ったということは考えられないのですが。
- （上野商工観光課長） 実行委員会の組織の中で、この商品券を取り扱っています。アンケートを実施したことはありませんが、相乗効果があるという声は聞いています。
- （金子委員） 私も、通常の買い物に使うだけで、費用対効果について疑問がある。完売することは消費者が得をするだけで、事業者にとって売上増加に結びついているか改善策があるか調査して欲しいと思います。
- （渡辺委員） 商工会員数は、1 店舗 1 会員ですか。
- （上野商工観光課長） アンケートの件ですが、本日のご意見を踏まえて実行委員会の中で相談したいと思います。商工会の会員数は 1 店舗 1 会員です。
- （渡辺委員） 商工会に加入している約 4 分の 1 しか商品券を使えるお店として指定されていないということですね。
- （上野商工観光課長） 3 商工会で商品券を取り扱いたいと希望するお店を募っていません。
- （渡辺委員） 商品券のメリットを事業者が感じていないということでしょうか。
- （伊沢経済建設部長） 1,313 人が全て小売店ではありません。工業者等もいます。加盟するには、負担金 1,000 円と手数料を商工会に払っています。
- （田辺委員） 当初 3 年間の予定で、延長されているということですが、景気が低迷しているときには致し方ないかと思いますが、期限なく延長してもい

いのかと感じています。ビタミン剤として商品券を発行するのは良いですが、各店舗が体力をつけることも必要です。各商店の魅力向上のための施策を考えてはいかがでしょうか。

(金子委員) 商店や商店街をなんとかしなければならないと考えている立場から申し上げますと、費用対効果の観点から問題だと思えます。別の施策を検討してはどうかと思えます。

(杉原会長) 効率性について「プレミアム分の負担率や発行額、発行期間などについて、関係団体と検討していく必要があります。」とありますが、どのような関係団体を想定されていますか。

(川端総合政策室長) 景気低迷の時代にはやむを得ないところがありますが、期間を含めて検討すべきと考えております。関係団体とは商工会を想定していますが、消費者の便益もあると思っております。

#### 中小企業制度融資促進事業に係る質疑

(飯島委員) 保証料は貸付ではなく、差し上げるといえるのでしょうか。

(上野商工観光課長) 融資者には補助金として交付しておりますので、返金はありません。1人当たりの保証料については、金額、保証期間、返済方法とも関わりがありますので、固定的なものではなく、0.35～1.60%で保証協会が保証料率を決めています。平成22年度は、1件あたり平均9万4,000円の保証料となっています。

(飯島委員) 保証料を全額補助されるためには、条件がありますか。

(上野商工観光課長) まず、商工会の会員でなければ使えません。融資を受ける際は、金融機関が書類の内容点検を行います。栃木県信用保証協会も関係します。保証協会から決定通知が来てから、市の保証料の補助金交付の手続きが行われます。

(金子委員) 補助金が交付されるのは、市の制度融資だけですか。

(上野商工観光課長) 保証料の補助はそうです。その他では、県の設備資金、日本政策金融公庫の設備資金を利用した方に対して、一部利子の補給をしています。

(金子委員) 中小企業融資も運転資金、設備資金などありますが、貸付利子を補助しているわけではないですね。

(伊沢経済建設部長) 3億1,600万円の預託を市から金融機関に対していたします。その3倍までの設備あるいは運転資金の融資が、1社1,000万円まで可能というものです。融資の審査は各金融機関が実施します。それに基づき、県の信用保証協会が保証料の額の算定が行われます。保証料の補助を市がします。利子の一部補助については、商工会関係から直接融資を受けている方に対して利子を補助するというものです。市の制度融資に対する利子補助ではございません。

(金子委員) これまでの実行件数と貸付金額を教えてください。

(上野商工観光課長) 今年の4月から9月末までで、62件で2億5,709万円です。

#### 石橋駅周辺土地区画整理事業に係る質疑

(関口委員) ここにある人件費は、何を指していますか。

(大橋区画整理課長) 課には10名職員がおります。対象は3地区ありますが、予算上、この区画整理事業については1名としています。人件費は職員の分となります。事業費の中に人件費は含まれていません。事業費には委託費、工事請負費、移転補償費を含みます。

(飯島委員) 移転保証契約がなかなか進まないということですが、あとの程度でしょうか。

(大橋区画整理課長) 物件移転対象者は残り数名です。道路形態の計画を少し変更してでも、交渉していこうと考えています。

(飯島委員) 地権者の話し合いがある程度まとまってから事業を始めることはできないのでしょうか。区画整理や道路の移転は、いつもこの問題が生じていると思います。

(大橋区画整理課長) 公共事業は100%の同意というのは難しい状況です。法律で反対される方がいても直接施工ができますが、費用がかさんでしまいます。他の市町村では、同意を待てないため直接施工を実施しているところもあるようです。私どもでは、粘り強く交渉していきたいと考えています。

(渡辺委員) 当初の事業計画では、平成23年度の完了だったのでしょうか。地権者との同意が原因で延びたのでしょうか。

(大橋区画整理課長) 昭和63年度に県から認可をいただいたのは、平成5年3月までです。それから5回、期間の延伸を認可してもらっています。いずれにしても、来年度中には終わりませんので延伸していただくことになると思います。

(渡辺委員) 同意してくれない人たちのために、費用がかかってきたということになりますか。もしどうしても事業を進めるのであれば、ある程度ところで法的措置を考えなければならないのではないのでしょうか。

(大橋区画整理課長) 合併を契機に直接施工を行うという前提で、ある地域では交渉が進展するきっかけとなることもありました。最終的には施行者である市長が決断することになりますが、その助言は私ども担当で行おうと考えています。

(飯島委員) はんこを押すかどうかは、担当者との長い間の信頼によるところが大きいと思います。ところが行政は担当者が異動になって変わるため、そういったことが起こりにくいのだと思います。長期にわたる事業は、担当者をあまり変えないほうが良いのではないかと思います。

- (大橋区画整理課長) 現在は担当者をローテーションして行っていますが、それでも私どもの課には7年勤めている職員もいます。ただお願いしているだけではだめだろうと考え、交渉の仕方を変えて臨んだらうまいったところですので、多少の計画変更も行いながら進めていきたいと考えています。
- (杉原会長) 地権者の方が、one for all と考えるか all for one と考えるかということにも関わると思います。担当者の変更というよりも、制度として進めていくべきかと思います。

#### 市道維持修繕事業に係る質疑

- (田辺委員) 検討委員会で評価されるとのことでしたが、評価項目や優先順位を教えてください。
- (伊沢建設課長) 書類調査、現地調査を実施し、職員が委員として検討委員会を組織しています。不特定多数の方が利用する道路であるかどうかを基準に評価しました。12件の案件があって、7件を採用しました。
- (前原委員) 市道石8034号線、7036号線は通学路ですか。
- (伊沢建設課長) 朝晩の通勤時間帯で交通量が多いですが、通学路には指定されていません。この道路の西側の道路が通学路として指定されています。
- (前原委員) 「暮らしに密着した生活道路を歩行者・自転車などが安心して」とありますが、この道路に歩行者はいますか。
- (伊沢建設課長) 農道で幅員も狭いですが、農業者が歩く程度です。
- (関口委員) 平成23年度は30箇所の想定で予算を組まれています、その見込みがあるのでしょうか。
- (伊沢建設課長) 平成22年1月から要望を受け付けていますが、11月までで21件となっています。市民からの通報で、道路整備を緊急に対応しなければならないところもあります。この予算だけでは対応しきれないのが実態で、今回の補正予算で追加の要望をしています。
- (杉原会長) アメリカでは、道路の修繕要望を市民が弁護士に申し立てて、弁護士が取りまとめて市に提出します。期間的ものが守られなければ損害賠償となるようですが、下野市ではありますか。
- (栗原経済建設部次長) 日本はアメリカほど訴訟制度として確立したものはないと認識しております。要望された道路は、A・B・Cで評価して実施しています。Aは緊急、Bは予算の範囲内、Cは当面実施しないとしています。
- (関口委員) B評価は予算がとれただけやるという姿勢では、いけないのではないかと思います。
- (栗原経済建設部次長) 国庫補助事業のような大規模なものは予算が付く時期がどうしても遅くなります。発注時期については市でも考えて発注するよう

努めています。予算が余ったから実施するというのではなく、緊急対応があるため、年度末近くなってもゼロにならないようにしているので、ご理解いただければと思います。

(関口委員) 今の説明で概ね理解しました。年度で均等に実施すれば、工事業者も楽なのではないかと思えます。

(栗原経済建設部次長) ご指摘のとおりですので、年度で均等になるように発注を考えております。

#### 市道南 1 - 1 号線道路整備事業に係る質疑

(渡辺委員) 調査測量設計費が高いように思います。

(栗原経済建設部次長) 調査・設計に関しては業者発注になりますが、積算根拠は国が定めておりますので、その根拠が公平であると考えて、市ではこれに準拠して採用しております。それなりの費用がかかるのは、致し方ないと思えます。

(渡辺委員) 新設の道路では、もっと高いのですか。

(栗原経済建設部次長) 既存の道路も新設の道路もやることは変わりませんので、費用はさほど変わりません。

(田辺委員) 何ミリくらいの雨が降ることを想定されていますか。

(伊沢建設課長) 勾配の関係、側溝がないこと等が原因となり、宅内で処理できなかった分などが通常の雨とともに水位を上げています。正確な数字は把握していませんが、高校の通学路でもありますので、速やかに対応したいと考えています。

#### 橋梁長寿命化修繕事業に係る質疑

(飯島委員) 事業種別では市が単独事業ではないとなっている一方、市の関与のあり方では市が事業主体とはどういうことですか。

(伊沢建設課長) 15m以上の橋梁ですので、国庫補助の対象になります。55%の補助があります。

(杉原会長) 市の負担は、どの程度ですか。

(栗原経済建設部次長) 45%が市の持ち出し分になります。

(前原委員) 計画対象橋梁のうち、健全度 20 以下は長田橋以外にはないのですか。

(伊沢建設課長) 20 以下が 1 橋、35 以下が 2 橋、40~80 以下が 20 橋、それ以外の 14 橋は当面修繕不要と診断されています。

#### 自治医大駅バリアフリー整備事業に係る質疑

(飯島委員) 国や J R からは、費用の負担がありますか。

(神戸都市計画課長) 国庫から 3 分の 1 の費用負担を受ける予定ですが、J R からはありません。

- ( 関口委員 ) 総合庁舎の建設を踏まえて、計画を建てられていますか。
- ( 栗原経済建設部次長 ) バリアフリーを進めるとの考えから、石橋駅、小金井駅から進めてきました。自治医大駅には、もともとエレベーターがありましたので、順番がまわってきたというものです。自治医大駅のバリアフリー化は、平成 25 年度の完成を予定しています。基本的には新庁舎建設とは関係なくバリアフリー化は進めますが、新庁舎建設には間に合うよう整備することになります。
- ( 関口委員 ) 庁舎ができることと関係なく、バリアフリー化だけを考えているということですか。
- ( 栗原経済建設部次長 ) 駅前広場と国道 4 号に出る道路についても、バリアフリー化を考えています。庁舎に続く道路も含めてバリアフリーとなるよう検討しています。
- ( 杉原会長 ) 全体を振り返って、質問はありますか。無いようですので、それでは経済建設部の方々ありがとうございました。

#### 委員審議

- ( 前原委員 ) 区画整理事業については、行政の誠意を相手を感じられていないのではないのでしょうか。私も現役時代に毎日通って、「あんただから判を押すよ」と言われて同意してもらった経験があります。
- ( 杉原会長 ) まとまって反対される場合もあれば、個別に反対される場合もあり、その原因は様々で難しいですね。公共性の問題かもしれません。
- ( 前原委員 ) 前に地域振興券の事業がありましたが、地元の商店で物を買おうという意識が少ないと思います。
- ( 飯島委員 ) 消費者にはプラスです。
- ( 金子委員 ) 商店にとってプラスになるかどうか問題だと思います。
- ( 川端総合政策室長 ) 日常の買い物に小山や宇都宮に行くことが相当あると思います。特に宇都宮のインターパークができて以降、地元での購買は相当下がっていると思います。そういった中ではプレミアム付商品券は、下野市での購買につながっていると思います。
- ( 関口委員 ) 結局はスーパーで買っていて、一般の商工会のメンバーに対してどの程度効果があるのだろうかと思います。
- ( 飯島委員 ) 商店の中にも面倒だと感じている方がいらっしゃるようです。
- ( 川端総合政策室長 ) プレミア商品券を持ってきた買い物客に、独自にサービスをしている商店もあるようです。

#### その他

- ( 事務局 ) 次回の委員会は少し時間をいただき、12 月 27 日 ( 月 ) 午後、同じ会場になります。各委員の評価を一覧表にして、委員会としての評価を

2回にわたって行います。これまでの5回分の会議録は、次回委員会の1週間前までには送付いたします。要約という性格上、ニュアンスが違う場合が過去には見られましたので、事前にご確認をお願いします。

以上